

光路長可変セル (Variable Pathlength Cell)

試料が入った状態で光路長の可変が可能、定量分析の検討に最適



光路長を変えても窓は回転せず平行が保たれます。試料が入った状態で連続的に光路長が変えられるため定量分析における最適な光路長決定に便利です。セルは各社FT-IRの標準透過測定スタンドにそのままマウント可能な3"×2"スライドマウント方式です。窓材は測定試料(溶媒)により下記窓材が使用可能です。

オーダー情報 光路長可変セル

GS07500	NaCl窓付光路長可変セル
GS07501	KBr窓付光路長可変セル
GS07502	CaF ₂ 窓付光路長可変セル
GS07503	BaF ₂ 窓付光路長可変セル
GS07509	ZnSe窓付光路長可変セル

7500シリーズ交換用窓

GS07020	NaCl窓
GS07021	KBr窓
GS07022	CaF ₂ 窓
GS07023	BaF ₂ 窓
GS07024	CsI窓
GS07025	CsBr窓
GS07026	KRS-5窓
GS07027	熔融シリカ(IR用)窓
GS07028	AgBr窓
GS07095	ポリエチレン窓
GS07096	ZnSe窓
GS07097	Si窓

オプション

GS01110	ルアーシリンジ(2ml)
GS07130	7500シリーズ用ネオプレンガスケット(10)
GS07135	7500シリーズ用ルアープラグ、リザーバーキャップ
GS07140	7500シリーズ用PTFEガスケット(0.1mm)
GS07150	スペアー ウィンドウ交換治具

特徴

- 連続光路長可変
- バーニア付マイクロメーターで正確な設定と読み取りが可能
- 3"×2"標準スライドマウント
- 窓板が回転しません
- 光路長: 0.04–6mm
- 最小目盛: 5 μm
- 最大試料容量: 6ml(最大光路長時)

アプリケーション

- 液体試料を希釈せずに測定
- 吸光係数の決定